

第8回鳥取駅周辺リ・デザイン会議 議事概要

- 1 日 時 令和8年3月17日（火） 14時～16時
- 2 場 所 鳥取市役所本庁舎市民交流棟 2階 多目的室1
- 3 議事内容

【市長あいさつ】

鳥取駅周辺再整備について、一昨年6月に基本計画を策定後、若者世代や子育て世代など、様々な市民の意見をいただきながら、約2年にわたり検討を進めてきた内容の一部を本日、整備計画の素案としてご提示する段階となった。

鳥取駅周辺整備については、多くの方から早期の整備を求める声や、複合施設等に整備される機能についての関心などが寄せられている状況であり、整備計画全体についても、今年の早い段階で成案としてとりまとめていきたいと考えている。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 【議題（1）これまでの検討経緯について】 | 資料により説明（資料P1～15） |
| 【議題（2）整備計画（素案）について】 | 資料により説明（資料P16、別紙1） |
| 【議題（3）策定までのスケジュールについて】 | 資料により説明（資料P17～19） |

【意見交換】

1. 整備計画（素案）について

- ・ 整備方針や駅まち空間のデザインにおいて、具体的な姿やアイデアが示された。
- ・ 短期間にここまでの内容をまとめていただき、厚くお礼を申し上げます。今後は、整備計画素案が公表され、その後パブリック・コメントを経て成案化されるとのことで、引き続き期待をしている。
- ・ 提示された整備計画においては、動線計画についてもよく検討されていると感じた。
- ・ 整備計画素案は、分かり易く、人の流れの分析についても鳥取のまちの特徴をよく理解された内容となっていることが伝わった。

2. 駅前地下道・平面横断について

- ・ 駅前と商店街が平面でつながり一体感を持った整備を進めてもらいたく、商店街としても一緒になり、歩いて楽しいまちづくりを進めていく意気込みである。平面横断は、交通安全の観点からは懸念があるが、障がいのある方やベビーカーを押す子ども連れの方にとっては、地下道はバリアとなっている。
- ・ 世界的にも車中心から人中心のまちづくり、ウォークブルなまちづくりが進められ

ている。まちを歩くことでまちの細部に導かれるようなまちづくりが重要である。

- ・ 車が少ない安全な道路は、音が少ない空間となり、ウォークアブル空間としての快適性や歩きやすさ、五感に響く空間として整備されるとよいと感じている。
- ・ 平面横断の重要性は感じているが、地下道は天候の悪い時の利便性が高い。地下道のあり方についてはメリット・デメリットの両方を示しつつ、市民意見を聞きながら引き続き検討してもらいたい。
- ・ 鳥取では猛暑対策も必要であるため、木陰をつくるなどの工夫も必要である。

3. 駅前整備とまちなかとの一体的なデザインについて

- ・ サンロードの舗装のリニューアルが予定されている。今後も、行政の所管部署や民間など様々な関係者が出てくるプロジェクトがあると思うが、50年に1度の整備に向けて、官民で連携して一体的な調和がとれる整備を進めてもらいたい。
- ・ 今後は、駅南側の低未利用地との連携についても検討が必要である。

4. 公共交通との連携・アクセスについて

- ・ 駅の再整備では、女性や若い方、高齢層の来訪が増えたというデータがある。駅などの中心部では、車によるアクセスを懸念しがちであるが、誰もが車で来訪を希望しているわけではない。
- ・ 公共交通との連携を強化することで拠点整備が進み、これまで移動できず、我慢していた潜在的な移動ニーズが動き出す可能性がある。車でアクセスだけでなく、公共交通のサービス水準を上げることで、潜在需要の掘り起こしが可能となる。
- ・ 鳥取駅が目的地となることが重要である。複合施設には図書機能を持たせることで、公共交通のサービス水準が低くても、「街」と「待ち」を楽しめることで、公共交通の待ち時間を有効活用でき、利用促進につながることを期待する。

5. 複合施設・各種施設について

- ・ 鳥取駅は鉄道利用者だけでなく、バス利用者や砂丘等の観光地に車で来訪する方も立ち寄る場所であるため、観光案内所は分かりやすく目立つ場所で、利用しやすい配置を検討してもらいたい。
- ・ 実施した滞留行動調査結果において、年代別などの属性ごとの特性や動線が把握できれば、今後の複合施設整備の検討に活かせると思う。
- ・ 駅舎や複合施設に関してもバリアフリーの取組も進めてもらいたい。
- ・ 駅周辺の再整備の事例では、サウンディング調査実施時には民間投資に対する懸念があったが、整備が進むにつれて現実味が増し、民間の投資動向が活発になっている。

6. 鳥取駅周辺エリアのグランドデザインについて

- ・ 商工会議所等からも意見書が提出されているが、今後、鳥取駅周辺のグランドデザインを描いた面的な全体像を検討してはどうか。
- ・ 検討エリアを広げることで、整備着手が遅れてしまうことや、昨今の社会経済的な不透明さが懸念される状況でもあり、計画策定だけで整備が進まない事が無いように、どこまで本計画に盛り込むべきかという点は議論しながら検討いただきたい。
- ・ 本計画は、中心市街地活性化基本計画に紐づいているため、第5期の中心市街地活性化計画の改定において、中心市街地全体の計画として、周辺の開発や事業が進んでいくことを盛り込んではどうか。